

日程	時間	講演名 テーマ	演題 番号	氏名 (敬称略)	可否	演題名	所属
18日 (土)	9:00-9:25	会長講演	PL	末木 博彦	可	躍進する皮膚科学—軸足を治療へ	昭和大
18日 (土)	15:00-16:00	招待講演1	IL1	Lars French	可	Autoinflammation: skin diseases seen in new light	Zurich University Hospital
19日 (日)	11:10-12:00	招待講演2	IL2	Jonathan Batchelor	可	Clinical trials in dermatology: the perspective of an investigator and a journal editor	The University of Nottingham
18日 (土)	13:00-14:00	特別講演1	SL1	河上 裕	不可	免疫チェックポイント阻害薬の展望:個別化・複合がん免疫療法の開発に向けて	慶應義塾大先端医科学研究 所細胞情報研究部門
18日 (土)	14:00-14:55	特別講演2	SL2	高橋 優三	可	医療における人工知能(AI)の現状と未来像	兵庫医大医学研究センター
19日 (日)	9:10-10:00	特別講演3	SL3	工藤 進英	可	人工知能(AI)を礎とした、医療の新展開:内視鏡自動診断システムと皮膚画像診断へのインスピレーション	昭和大横浜市北部病院 消化器センター
18日 (土)	13:00-13:45	教育講演1	EL1	関東 裕美	可	皮膚科医として知らぬは恥—化粧品知識—	東邦大(大森)
18日 (土)	13:45-14:30	教育講演2	EL2	石地 尚興	可	難治性ウイルス性疣贅の治療	東京慈恵会医大
18日 (土)	16:00-16:50	教育講演3	EL3	藤本 智子	可	多汗症の治療 オーダーメイドな治療の目標設定を	池袋西口ふくろう皮膚科クリニック
18日 (土)	16:00-16:50	教育講演4	EL4	関根 万里	可	「輸入感染症」を疑ったら—どんな時に疑い、どう対応をしますか?—	東京都保健医療公社荏原病院
19日 (日)	10:05-11:05	教育講演5 皮膚疾患の新しい治療	EL5-1	常深 祐一郎	可	アトピー性皮膚炎治療の近未来	東京女子医大
			EL5-2	森田 明理	可	乾癬治療に対するメトトレキサートのリポジショニングの可能性	名古屋市立大
19日 (日)	11:10-12:00	教育講演6	EL6	菅谷 誠	可	皮膚リンパ腫の治療指針の立て方	国際医療福祉大学
19日 (日)	11:10-12:00	教育講演7	EL7	森田 栄伸	可	食物アレルギー どう考えて、どのように対処するか	島根大
19日 (日)	9:10-10:00	教育講演8	EL8	塚本 克彦	可	尋常性白斑の病態と治療up to date	山梨県立中央病院
19日 (日)	10:05-10:55	教育講演9	EL9	船坂 陽子	可	エビデンスに基づいたシミ治療	日本医大
19日 (日)	11:00-11:50	教育講演10	EL10	長谷川 稔	可	限局性強皮症、好酸球性筋膜炎、硬化性萎縮性苔癬:ガイドラインの解説	福井大
19日 (日)	13:20-14:10	教育講演11	EL11	浅田 秀夫	可	帯状疱疹ワクチンの有用性と注意点	奈良県立医大
19日 (日)	14:15-15:05	教育講演12	EL12	佐藤 貴浩	可	痒疹とは何か—病型の捉え方と治療	防衛医大
18日 (土)	16:00-17:00	企画講演1	企画1	石井 和宏	不可	エアラインのリスクマネジメントに学ぶ	ANAビジネスソリューション (株)
19日 (日)	9:10-10:00	企画講演2	企画2	Jonathan Batchelor	可	皮膚科診療で使う英語表現	The University of Nottingham
18日 (土)	9:30-11:40	基調シンポジウム1 わが国の皮膚科治療の 進歩と将来展望	KSY1-1	渡辺 晋一	可	世界標準の治療薬と我が国の現状	銀座レーザークリニック、帝 京大医真菌センター、帝京 大名誉教授
			KSY1-2	古川 福実	可	皮膚エリテマトーデスに対するヒドロキシクロキシン療法	高槻赤十字病院、和歌山県 立医大名誉教授
			KSY1-3	天谷 雅行	可	天疱瘡、類天疱瘡におけるIVIG療法と抗CD20抗体療法	慶應義塾大
			KSY1-4	池田 志孝	可	アフレルス療法	順天堂大
			KSY1-5	大塚 篤司	不可	メラノーマにおける免疫療法Up-to-date	京都大
			KSY1-6	五十嵐 敦之	不可	治験段階あるいは導入が検討される新しい治療薬の将来展望	NTT東日本関東病院
18日 (土)	9:30-11:40	基調シンポジウム2 薬疹する皮膚科学	KSY2-1	阿部 理一郎	可	重症薬疹の早期バイオマーカーの発見および創薬	新潟大
			KSY2-2	中島 沙恵子	不可	薬疹のメカニズム(動物モデルを含めて)	京都大
			KSY2-3	高橋 勇人	可	薬剤アレルギーの免疫学的理解のすすめ	慶應義塾大
			KSY2-4	塩原 哲夫	可	薬疹研究を躍進させるには何が必要か?	杏林大名誉教授
18日 (土)	9:30-11:40	シンポジウム1 基礎から学ぶ皮膚外科 ~小外科から悪性腫瘍まで~	SY1-1	前川 武雄	可	小手術の基本:基本手技の再考と実際~「術野の展開」と「剥離法の選択」を中心に~	自治医大
			SY1-2	岸 晶子	可	植皮術の基本:何に注意する?そのコツは?	虎の門病院
			SY1-3	寺本 由紀子	可	皮弁術の基本:何に注意する?そのコツは?	埼玉医大国際医療センター
			SY1-4	岩井 信策	可	局所麻酔下での小外科手術の実際	昭和大
			SY1-5	中村 泰大	可	皮膚腫瘍外科における切除術:切除範囲・解剖学的特性と手技の実際	埼玉医大国際医療センター
			SY1-6	松下 茂人	不可	皮膚腫瘍外科における再建術:手技の実際と注意点	鹿児島医療センター
			SY1-7	藤澤 康弘	可	リンパ節手術の実際とその注意点とは	筑波大

日程	時間	講演名 テーマ	演題 番号	氏名 (敬称略)	可否	演題名	所属
18日 (土)	9:30-11:40	シンポジウム2 実は身近にある免疫 再構築症候群 (IRIS)	SY2-1	藤田 次郎	可	免疫再構築症候群 (IRIS) の診断と治療	琉球大第一内科
			SY2-2	末木 博彦	可	拡大する免疫再構築症候群 (immune reconstruction inflammatory syndrome: IRIS) の疾患概念—non-HIV IRIS診断のポイント	昭和大
			SY2-3	久保田 馨	可	これから増加が予測されるIRIS	日本医大呼吸器内科学
			SY2-4	青山 裕美	不可	自己免疫性水疱症にみられる免疫再構築症 候群 (non-HIV IRIS) の実態	川崎医大総合医療センター
18日 (土)	13:50-15:50	シンポジウム3 基礎から学ぶステロイド全身療法 ～エビデンスに基づく使い方～	SY3-1	浅野 善英	可	膠原病治療における使い方	東京大
			SY3-2	鶴田 大輔	可	ステロイド全身療法:水疱症治療における使い 方	大阪市立大
			SY3-3	山口 由衣	可	薬疹治療におけるステロイド全身療法	横浜市立大
			SY3-4	川合 眞一	可	ステロイド全身療法の際に知っておくべき副腎 皮質ステロイドの基礎知識	東邦大炎症・疼痛制御学
18日 (土)	13:50-15:50	シンポジウム4 乳児と小児のcommon diseaseを 克服する —あざと感染症のすべて—	SY4-1	鑑 慎司	可	今どきの赤あざの診断と治療	関東中央病院
			SY4-2	岸 晶子	可	青あざ、茶あざ、黒あざの診断と治療	虎の門病院
			SY4-3	渡辺 大輔	可	小児のウイルス感染症—どう対応するか?—	愛知医大
			SY4-4	玉城 善史郎	可	小児の皮膚感染症	埼玉県立小児医療センター
18日 (土)	13:50-15:50	シンポジウム5 外用療法の極意と裏技	SY5-1	徳留 嘉寛	可	外用薬の経皮吸収	城西大薬学皮膚生理学
			SY5-2	大谷 道輝	可	テツコとヒデキが選ぶ「ジェネリック」は?	杏雲堂病院
			SY5-3	出来尾 格	不可	アトピー性皮膚炎の外用療法の極意と裏技	ミルディス皮膚科横浜西口・ 理化学研究所バイオリソース センター
			SY5-4	大久保 ゆかり	可	進化する 乾癬の外用療法	東京医大
19日 (日)	9:10-11:10	シンポジウム6 急性期から慢性期、 在宅につなぐ褥瘡治療 —チーム医療の構築をめざして—	SY6-1	門野 岳史	可	被覆保護剤—陰圧閉鎖療法 (NPWT)	聖マリアンナ医大
			SY6-2	立花 隆夫	可	褥瘡の外用療法について	大阪赤十字病院
			SY6-3	笠井 史人	可	在宅でもできるケア 体位変換 seating	昭和大リハビリテーション医学、昭和大江東豊洲病院褥 瘡対策室
			SY6-4	藤尾 敬子	可	「スキンテア」をどう防ぐ?～在宅でもできる予 防法～	昭和大江東豊洲病院
			SY6-5	森田 千雅子	可	どうしたらいいの?在宅の低栄養	ホームケアクリニック横浜港 南
			SY6-6	袋 秀平	可	在宅褥瘡の現状と問題点～往診を行う皮膚科 医の視点から～	ふくろ皮膚科クリニック
19日 (日)	9:10-11:10	シンポジウム7 デルマドローームをデルマ ドローームへ繋げよう! スマホを持って参加しよう!	SY7-1	上出 良一	可	イントロダクション:そもそもデルマドローームと は?	ひふのクリニック人形町
			SY7-2	寺木 祐一	不可	内科医も唸るデルマドローーム	埼玉医大総合医療セン ター
			SY7-3	新井 達	可	最近注目される新しいデルマドローーム	聖路加国際病院
			SY7-4	金子 健彦	可	ラミニン332、TIF-1γなどの自己抗体や関連遺 伝子が同定されたデルマドローーム	和洋女子大総合生活研究科
			SY7-5	田中 勝	不可	聴衆アンケート この皮膚症状はデルマドロー ーム	東京女子医大東医療セン ター
19日 (日)	13:20-15:20	シンポジウム8 爪疾患の実践治療	SY8-1	安木 良博	可	爪疾患の外用療法について	池袋病院、昭和大
			SY8-2	田村 敦志	可	爪疾患の外科的治療におけるコツと注意点	伊勢崎市民病院
			SY8-3	清水 晶	可	ヒト乳頭腫ウイルス感染と爪部角化細胞由来 皮膚悪性腫瘍～爪部Bowen病を中心に～	群馬大
			SY8-4	中西 健史	可	教書に載らない爪の病変:小ネタ集	滋賀医大
19日 (日)	13:20-15:20	シンポジウム9 慢性皮膚疾患患者と向き合う	SY9-1	加藤 則人	可	慢性皮膚疾患の患者の治療アドヒアランスを 高めるスキル	京都府立医大
			SY9-2	間山 真美子	不可	皮膚科における漢方治療とその前提となる食 事を中心とした生活習慣について	和(なごむ)皮ふ科クリニック
			SY9-3	野村 有子	可	慢性皮膚疾患の治療に欠かせない生活指導 について	野村皮膚科医院
			SY9-4	檜垣 祐子	可	心身医学的アプローチの実際	若松町こころとひふのクリニッ ク
			SY9-5	上出 良一	可	診療外サポート	ひふのクリニック人形町
18日 (土)	14:40-15:50	ワークショップ MSLT-IIの結果に基づいて センチネルリンパ節の取り扱いはい は変わるのか?	WS-1	松下 茂人	可	メラノーマにおけるセンチネルリンパ節生検とリ ンパ節郭清～是か?非か?～	鹿児島医療センター
			WS-2	中村 泰大	可	メラノーマにおけるリンパ節郭清の今後—早期 リンパ節郭清は診断・治療手段として必要か 不要か?	埼玉医大国際医療センター
			WS-3	藤澤 康弘	不可	センチネルリンパ節生検がもたらす情報をどう 利用すれば良いのか?	筑波大
			WS-4	竹之内 辰也	可	センチネルリンパ節生検はこれからも必要 か?	新潟県立がんセンター新潟 病院
			WS-5	堤田 新	可	MSLT-2試験の結果に対して即応は注意が必要	国立がん研究センター中央 病院